

人間関係講座（グループ）第86回 [秋]

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 土屋 耕治（南山大学人文学部心理人間学科講師）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。</p> <p>この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>なお、この講座（または過去の人間関係講座<グループ>）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。</p>
日程	2012年9月1日（土） 10：00～18：00 9月2日（日） 9：00～17：00 土日集中
36名	各36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 楠本 和彦 記</p> <p>9月1日(土)・2日(日)に、第86回人間関係講座(グループ)が行われました。</p> <p>参加者数は34名でした。ファシリテーターは土屋、楠本が担当しました。2日間に亘って、異なるタイプのグループワークに参加者のみなさんは取り組まれました。</p> <p>各実習後や2日間最後の全体インタビューでは、その実習での、あるいは、2日間を通しての学び・気づきとして、多くの方が印象的な言葉を語ってくださいました。ファシリテーターとして、とてもうれしく聴かせていただきました。</p> <p>以下に、参加者の方々の2日間終えての感想を、アンケートから、ほんの一部、紹介します。</p> <p>以下の言葉は文意を曲げない範囲内で、一部加筆修正しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の視野が開けたという感覚を何度も得られたことが収穫かと思えます。・自分の知らない事柄を他者から指摘していただいて、とても参考になりました。・今の自分を知り、それを今後につなげることができると感じています。・人間関係に対する意識の持ち方が変わった。プロセスに注目することで、グループの成長や個人の動きをとらえられることを知ることができたからです。・価値観を知り、相手の土俵に立って、話を聞くという経験ができた。・現場でも人間関係に関する実習を行っていますが、そのねらい、効果、原理などを十分に理解していないままだったので、これからはプロセスに目を向けて、より効果的にコンテンツを行っていけると思いました。・ファシリテーションを通じて、自分が大事にしたいこと、しなければならないことの再認識ができた。